

会 議 記 録			
会議の名称	環境市民厚生常任委員会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	小野
日 時	令和4年8月25日（木曜日）	開 議	午後 1 時 3 0 分
		閉 議	午後 2 時 4 3 分
出席委員	◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 竹田 西口		
理事者出席者	【環境先進都市推進部】山内部長 【環境政策課】大倉課長、谷口副課長、鈴木副課長、名倉副課長 【資源循環推進課】大西課長、西田施設担当課長、酒井計画係長 【市民生活部】森川部長 【市民課】増田課長、浅田市民相談係長、木村受付係長 【保険医療課】吉田課長		
事務局	井上事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 開 議

2 行政報告

[理事者入室] 市民生活部

(1) マイナンバーカードの普及促進に向けた取組について

<市民生活部長>

(あいさつ)

<市民課長>

(資料に基づき説明)

～ 1 3 : 3 8

[質疑]

<並河委員>

全自治会で出張窓口を開設しないのか。

<市民課長>

8月30日から9月15日までの間で、各自治会に場所を借りることができないか依頼したが、スケジュールが合わなかった自治会は、出張窓口の開設を希望されなかった。

<平本委員>

スケジュールが合わなかった自治会では出張窓口を開設しないのか。

<市民生活部長>

23自治会のうち18自治会で開設が決まっている。残りの5自治会のうち、亀岡地区は、市役所が近いので、あえて開設しなくてもよいとの回答があり、篠町はアル・プラザ亀岡と東部文化センター、大井町ではカインズ亀岡店で開設する。

<平本委員>

どのような方が商業施設へ申請に来られるのか。

<市民課長>

統計は取っていないが、家族連れや高齢の夫婦が多い印象である。

<富谷委員>

最寄りの自治会で開設される出張窓口でなくても申請できるのか。

<市民課長>

どこでも申請可能である。

<富谷委員>

出張窓口でマイナポイントを申請することはできるのか。

<市民課長>

出張窓口では申請できない。

<並河委員>

子どもが出生した場合、どのようにマイナンバーカードを作成するのか。

<市民課長>

出生して約1カ月後にマイナンバーカードの通知が来るため、それを持って親が届け出すことができる。

<並河委員>

いつからマイナンバーカードを健康保険証として使用することができるのか。

<市民課長>

保険証として使う場合は、保険証とマイナンバーカードをひもづける必要がある。

<西口委員>

なぜマイナンバーカードの普及率が伸びないのか。マイナンバーカードを持とうとしない理由は分析できているのか。

<市民生活部長>

当初、メディアなどを通じて個人情報漏洩する恐れがあるという噂が広まった。マイナンバーカードを作る方に対しては、情報漏洩することはないと説明する機会があるが、作らない方に対しては説明する機会がないため、国に対して適正な情報発信を行うよう求めていく。

[理事者退室] 市民生活部

[理事者入室] 環境先進都市推進部

(1) 亀岡市再生可能エネルギー導入戦略・亀岡市地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)の策定について

<環境先進都市推進部長>

(あいさつ)

<環境政策課長>

(資料に基づき説明)

～14:18

[質疑]

<長澤委員長>

計画に基づき、市が直接実施できるもの、事業者と連携することによって実施でき

るもの、また事業者が自主的に実施することを促すものなどがあると思うが、どのように推進していくのか。

<環境政策課長>

公共施設から取組を進めていくが、民間でどのように広げていくかということが取組を進める上で重要であると考えている。

(2) かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定に基づく取組について
(株 e c o m m i t)

<資源循環推進課長>

(資料に基づき説明)

～14:25

[質疑]

<竹田委員>

市内に広がる状況を追跡するとはどのようにするのか。

<資源循環推進課長>

どのくらい集まり、どのくらい持って帰られ、どのくらいの量をリユース事業者が回収したのかを重量として把握することができる。また、どのようにリユース品が広まっているのか、QRコードを付けたシールで位置情報も追跡することができる。

<竹田委員>

持ち帰ったものを転売するといった、本来の趣旨から逸脱することを防ぐことはできるのか。

<資源循環推進課長>

そこまで追うことはできないので、事業を実施するに当たり、趣旨を周知する中で、実施方法を検討していきたい。

<平本委員>

各自治会でも実施する考えはあるか。

<資源循環推進課長>

株式会社 e c o m m i t は少額ではあるが、引き取られなかったものを買って取るため、千代川町自治会でモデル事業を行い、うまく実施することができれば、状況を見ながら広めていきたいと考えている。

<竹田委員>

1か所当たりの事業費はどのくらいかかるのか。

<資源循環推進課長>

市が主導して、この事業を2回実施したが、特に費用は発生していない。今後、地元で実施する際に必要となる費用については、次年度予算に計上していきたい。自治会を交えて実施するのは今回が初めてなので、モデル事業の中で課題や問題点などを把握したいと考えている。

<環境先進都市推進部長>

モデル事業の中で情報を蓄積し、効果的に実施していきたい。また、理想としては自立し持続可能な事業としていきたい。

<長澤委員長>

地域で行うとなると地元の協力が必要になるが、協力を得る上でどのような課題があるのか。

<環境先進都市推進部長>

高齢化などの問題はあるが、環境の事業を契機に地域コミュニティを再構築することが課題の克服につながると考えている。

[理事者退室] 環境先進都市推進部

3 行政視察の総括

<長澤委員長>

事前に提出いただいた各委員の考察と意見を掲載した資料をお手元に配付しているので、それを踏まえて総括をお願いする。なお、行政視察報告書として、ホームページに掲載するとともに議会図書室に設置し、執行部へも情報提供を行うので御了承願う。追加したい意見等があればお願いする。なければこれでよいか。

—了—

4 その他

<長澤委員長>

次回の委員会は9月13日（火）午前10時から議案審査を行う。

散会 ～14:43